

[ACITA]は人工内耳友の会の略称で「あした」と読みます。

Association of
Cochlear Implant
Transmitted Audition
の略です

あしたのかわら版

人工内耳友の会[ACITA] 福岡支部

創刊号
2007年6月10日発行
人工内耳友の会 [ACITA]
福岡支部
発行責任者 伯川末行
編集責任者 樋口弘行

福岡支部設立

人工内耳友の会

4月21日

福岡県在住人工内耳装用者団体「人工内耳友の会」福岡支部が設立された。九州では初

熊本支部も同時に設立

四月二十一日(土)クロトーバープラザ(春日市)で人工内耳友の会福岡支部の設立総会が開催されました。人工内耳友の会本部から副会長岡田孝司さん、同、四国支部長坂東恵美さん、同、九州地域委員で熊本支部長の入山英之さん、福岡市中途失聴難聴者福祉協会会長

梅田正利さんらを来賓に招き正会員二十九人、賛助会員四人でのスタート。九州以外では既に支部が設立され活発な活動をしています。今回の支部設立で県内での人工内耳装用者同士の親睦と交流、及び装用予定者への助言等が期待されます。今回の設立に当たっては

発刊に寄せて

福岡支部のご設立並びに『あしたのかわら版』のご創刊、おめでとうございます。



人工内耳友の会
会長 塩田辰樹

「ACITA」の支部は、貴支部と熊本支部の設立で十二支部となります。人工内耳友の会「ACITA」は、一九八八年春に発足した『日本全国人工内耳装用者の会』であり、来年二〇周年を迎えます。「人工内耳を介した聞こえの集い」という意味の英語の頭文字をとり「ACITA」

と書いて「あした」と読みます。メーカー、機種によらず人工内耳装用者である正会員一千名強、難聴者、医療関係者、メーカー等の賛助会員約二〇〇名が「ACITA」の会員です。「ACITA」は、創立以来、「人工内耳に関することを良くしよう!」という基本姿勢で活動を行っています。主な活動は、年一回六

月開催する懇談会、年四回発行する会報、「ACITA」が提唱している九月九日の人工内耳の日になんだシンポジウム等です。近い将来に九州で懇談会を開催できる日を楽しみにしております。また、会員、支部の集まりの持つ大きな力を結集して、請願等の活動も行っており、昨年は、人工内耳部品への健康保険適用の拡大等が実現しました。人工内耳友の会「ACITA」福岡支部の今後のご発展を心からお祈り申し上げます。



総会記念写真

有志により一年前から委員会を開き準備を進めてきました。一番の課題は県内在住の装用者の把握をすること。これについては九州大学病院の小宗静男教授、福岡大学病院の中川尚志教授らの積極的な協力で県内在住者の方へ大学側から総会案内、加入紹介状をおよそ

六十名の方に郵送して頂きました。また総会会場では小郡要約筆記の会「たなばた」の四人の方々によりパソコンによる要約筆記をして頂きました。関係者の皆様へ厚くお礼申し上げます。(樋口)

支部役員決定

総会で決定した役員は次の通りです。

- 支部長 伯川 末行
- 副支部長 樋口 弘行
- 会計委員 加藤津和子
- 委員 大穂 実
- 野口 明実
- 岩男サヨ子

監査 若林 進
任期 平成二十一年三月
(二面に支部長挨拶)

第一回役員会開催

五月十二日(土)北九州市の「ウェル戸畑」会議室で役員会が開かれ、設立総会運営の反省、今後の取り組みなど検討。七月頃会員交流会を、会員への諸連絡を含め機関紙を発行することなどが話し合われました。

馬耳東風

▼日頃何気なく読んでいる新聞もその裏には多くの知識と経験とセンスを持った人達がいます。しかし我々はそのことにはあまり気が付かない。

▼今回この「かわら版」を作るに際しその難しさと自分のセンスのなさをあらためて知った。今までと違った目で新聞に目を通してみるとやはりプロが作った新聞は見易いし綺麗である。▼新聞には「天声人語」「余禄」「春秋」などのコラムがあるが、この「かわら版」にも形だけでもそういうものを作りたいと思った。タイトルはやはり「耳」に関したものがいい。馬耳東風という言葉が妙に頭から離れない。▼「馬耳東風」辞書には「他人の批評・意見をまるで気にかけないで聞き流すこと」とあり、決していい意味で使われることはない。▼このコラムも内容は乏しい。もし読んだとしても一時間もすれば忘れてしまう程度のものである。とは言え、時間があれば「馬耳東風」的に読んでもらえれば幸いである。

支部長挨拶



中村 行

去る四月二十一日の人工内耳友の会 福岡支部設立総会で支部長に選出されました伯川（はくかわ）です。

生まれは長崎県ですが、二年前から福岡市城南区にお世話になっております。

さて、人工内耳友の会は

全国組織ですから、会員同士との交流の場を持つにしても地理的条件で困難を伴います。そこで本部は主として、会員の社会生活上（内耳植え込み術や器材の健保適用、失聴・難聴者への情報保障など・・・）の活動の活動を行い、会員相互の情報・交流活動は、地域ごとに支部設立を促進して行うなど、本部・支部が役割を分担して活動していることは、すでにご存知の方も多いと思います。

ところで九州ではどうだったでしょうか。先輩の方々が九州にも何とか支部の設立を・・・と努力されてき

ました。実現するまでに至らず、会員数も一進一退から減少の方向を辿ってまいりました。しかし、最近になって、入山地域委員を中心に有志によって支部設立の機運が高まり、遂に本年四月、熊本・福岡二支部の誕生を見るに至りました。ここに福岡支部が発足しましたのも、会員とご家族の深いご理解と、九州大病院・福岡大病院の先生方の、積極的ご理解ご支援の賜物であります。

福岡支部は現在、正会員三十名、賛助会員四名、合計三十四名です。当面は会員相互の情報交換と交流会を主に、皆さんのお知恵を拝借しながら活動を展開していきたいと思っております。よろしくご協力くださるようお願いいたします。

活動のすべてはこれからであり、人間の集まりである組織というのは、そこに参加・構成している者一人ひとりが協力し合って育てていくものだと思います。中には「入会してメリットはあるの?」「会費を出してメリットが無いなら入会しない。あるいは入会して

いたけど、もうやくめた」といったケースをよく耳にします。だけど皆さん、必要の都度、要約筆記で耳の代役をしてもらったり、テレビでは字幕放送、利用交通機関では字幕表示、そして大きいのは、内耳植え込み術及び関連器材の健保適用拡大など上げれば限りありませんが、これは何れも「天から降ってきたり」「行政から、どうぞ」と与えられたものではありません。障害を持つ先輩の皆さんが、組織を作り団体を通して長い間運動をし、闘いとってきたものであります。このように、長い目で見れば活動の意義・メリットも良く解っていただけだと思います。みなさん、この福岡支部設立の意義を認識されまして相互理解を深め、また、よき交流の場となつて、「福岡支部ができて本当に良かった」と実感できる日が一日も早く来るように、みなで頑張りましょう。

最後になりましたが、会員の皆さんに設立総会のご報告が遅れましたことをお詫びしてご挨拶にかえます。

新会員紹介

五月二十四日付けで新しく正会員として加入されましたので紹介致します。

- ・近沢紀子さん(成人)
- ・福岡市東区在住
- ・平成十八年十一月
- 九州大病院にて手術

合わせて正会員三十名、賛助会員四名。合計三十四名となります。

今年度活動概要

第一回運営委員会を五月十二日開催し、第一期・今年度の行事計画を審議決定しました。当面は支部の基盤づくりを主眼に、身の丈にあった活動をしていきます。そのために、何ごとも気張らず気楽に、交流が図られるように運営します。それぞれの行事については、その都度お知らせしますから、一人でも多くの会員に参加して頂き、支部を盛り上げていきましょう。主な行事計画(予定)は次のとおりです。

会費納入のお願い

(会計) 加藤

年会費未納の方はなるべく早く納入して下さい。この度、郵便局に口座を作りましたのでご利用下さい。尚手数料はご負担下さい。振込受領証を領収書とします。口座は次の通りです。宜しくお願いたします。

- 六月 ・ 広報紙(かわら版) 「ACITA」本部 地域委員会
- 七月 ・ 同本部全国大会
- ・ 運営委員会
- ・ 会員交流・懇親会
- ・ 運営委員会
- ・ 広報紙(かわら版)
- 十一月 ・ 運営委員会
- ・ 九州地域交流会
- 十二月 ・ 懇親(懇話)会
- ・ 広報紙(かわら版)
- 一月 ・ 運営委員会
- 二月 ・ 聴こえの研修会
- 三月 ・ 運営委員会
- ・ 会計監査
- ・ 広報紙(かわら版)
- 四月 ・ 第二定期総会

皆様からの投稿お待ちしています

★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★

投稿お待ちしています

編集後記

切り貼りしてコピーでは能がないしと、編集用のソフトを揃えたものの今度は使い方で四苦八苦。娘に教えてもらいながら何とかここまで出来ました。ソフトの機能を十分使いこなすまでにはまだまだですが、回を重ねていけば少しはましになるだろうと思います。これからは内容も充実させたいと思っておりますので皆様のご意見、ご要望をお待ちしております。

この「かわら版」がかけ橋となって会員相互の親睦と連携がとれば幸いです。

(樋)

(口座番号) 01760-9-47215

(加入者名) 人工内耳友の会 福岡支部